

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

秋田市立広面小学校

1 本年度の学校評価をふりかえって

学校教育目標を「絆をむすび 夢にはばたく」とし、年度初めに全職員が子どもの実態について共通理解を図った。また、年度末の姿を想定して、適宜、進捗状況を確認しながら実践を見直し、積極的に改善を行ってきた。これまでの連携をさらに進め、学校・保護者・地域が連携・協働して学校運営を進めていくことができるよう、今年度から学校運営協議会を立ち上げた。年間を通して協議会を定期的に開催し、継続的に評価をいただきながら、学校運営の改善に生かすことができた。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
教育課程・学習指導	基本的な学習習慣の指導の共通実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の学習で、ノートのとり方や話し方、聞き方等の指導を継続して行った。 ・ 全学年で「学習の約束」「家庭学習のてびき」等を活用し、発達の段階を踏まえながら系統的に指導を進めた。 ・ 保護者対象の学校評価アンケート（11月実施）では「わかりやすく一人一人を大切に授業づくり」について86.5%の肯定的回答が得られた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の授業の評価や諸調査の分析を通して児童の変容を的確に見取り、成果と課題を共有する。 ・ 授業研究会、学校視察等の機会なども生かしながら指導改善に向けた具体策を講じ、授業力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と子どもたちの表情がよい。授業に意欲的に向かい、集中して学ぶ様子が見られる。信頼関係がしっかりできていると感じた。 ・ 授業展開や指導のポイントが押さえられている。 ・ ティームティーチングによる指導などにより、一人一人を大切に授業が充実している。
生徒指導	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「3つの約束」（安全、あいさつ、ありがとう）や「レベルアップのさしすせそ」（思いやり、意欲、感謝、責任、奉仕）を、児童と教師共通の合い言葉として常に意識しながら取り組んだ。 ・ 道徳科を要とし、対話を通して自己の考えを深める授業研究に年間を通じて取り組んだ。 ・ 児童会活動や学校行事などの場面で重点的に指導する項目内容を明確にして指導に当たった。 ・ 諸調査で「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校に来るのは楽しい」「学校のきまりを守っている」などの項目に対する児童の回答に向上が見られた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度も引き続き「道徳教育の充実」をテーマに研究を推進し、道徳科と他の教育活動との関連を図った指導の改善を図る。 ・ 家庭や地域と連携しながら道徳教育の充実に努め、子どもたちの道徳的実践意欲と態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の献身的な指導により、子どもたちの道徳性が高まっていると感じる。 ・ 生活の様々な場面をとらえて、子どもたちがよりよい生き方について考える機会をつくってほしい。
	いじめ防止の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども一人一人が自己存在感を実感できる温かさと規範意識のある学級づくりに全学級共通に取り組んだ。 ・ 児童会主体の集会や縦割り活動などを通して自他の理解や大切さ、折り合いと調整による合意形成などが実感できるようにした。 ・ 年3回の「くらしの姿アンケート」や11月の「ここにこトーク」を通じていじめの早期発見、対応に当たった。 ・ 学校評価アンケートでは「子ども同士の関わり合いや高め合いを大切に授業づくり」について89.2%の肯定的回答が得られた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も引き続き日常の観察や児童とのふれあいをベースに、「くらしの姿アンケート」や「ここにこトーク」などの結果も踏まえながら、より深い児童理解に努める。 ・ 教師間の日頃の情報交換を大切にしながら、年3回実施する「児童を語る会」なども活用し、支援の方向性を共通理解して指導に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業をしている子どもたちが非常に仲がよく、高め合う関係ができている。いじめを生まない関係づくりに、引き続き取り組んでいただきたい。 ・ 総じて教師と児童の関係がよいことも、よいポイントなのではないか。
家庭・地域との連携	「地域とともにある学校づくり」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会を年3回開催し委員の方から学校運営に関する助言をいただきながら学校運営を進めた。 ・ 田植えや稲刈り、梵天祭りなど地域を素材とした学習をさらに充実させた。地域の方の支援を受けることで学習効果上がり、より深い学びにつながった。 ・ 執行部をはじめ保護者の方々の積極的な参加により、各種PTA活動が熱心に行われている。 ・ 校報や各種通信、ホームページ等による情報発信が、保護者や地域から高い評価を得ている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸行事や地域を素材とした学習の企画運営について、保護者や地域の方々からアイデアをいただき、更なる充実を図っていく。 ・ 今後もホームページや校報等による情報発信を積極的に行い、学校の取組に対する関心を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の活性化にもつながる取組を、今後もがんばってほしい。これからは学校の取組に協力していく。 ・ 昔遊び、田植え、稲刈りなど子どもたちとの交流を今後も継続してほしい。 ・ ホームページや校報から子どもたちの様子がよく伝わってきた。